



2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月13日
東

上場会社名 株式会社ネオジャパン

上場取引所

コード番号 3921

URL <https://www.neo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 晶議

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 常盤 誠 (TEL) 045-640-5917

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第1四半期の連結業績(2025年2月1日～2025年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	1,996	18.3	644	47.6	654	39.6	447	41.7
2025年1月期第1四半期	1,687	2.6	436	11.0	468	16.8	315	17.2

(注) 包括利益 2026年1月期第1四半期 376百万円(12.7%) 2025年1月期第1四半期 333百万円(15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	31.97	31.91
2025年1月期第1四半期	21.95	21.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	8,984	6,326	70.3
2025年1月期	9,240	6,313	68.3

(参考) 自己資本 2026年1月期第1四半期 6,318百万円 2025年1月期 6,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	14.00	—	26.00	40.00
2026年1月期	—				
2026年1月期(予想)		21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の連結業績予想(2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,048	10.8	2,106	7.9	2,166	5.7	1,462	3.4	104.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社 (社名) - 、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年1月期1Q	14,073,200株	2025年1月期	14,073,200株
② 期末自己株式数	2026年1月期1Q	80,842株	2025年1月期	79,222株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年1月期1Q	13,993,868株	2025年1月期1Q	14,375,901株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財務状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益及び雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。景気の先行きについては、緩やかな回復が継続していくことが期待されますが、米国の通商政策の動向、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響には注意が必要な状況となっております。

当社グループが属するIT業界におきましては、ソフトウェア投資は増加傾向にあり、企業収益の改善や人手不足等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。

このような状況の中、desknet's NEOにつきましては、クラウド版の新オプションサービスとして会議室予約表示「RoomMgr（ルーム マネージャー）」を2025年2月に提供開始いたしました。また、契約ユーザー数に応じた容量を標準提供するクラウドストレージ「desknet's ドライブ」を介して大容量ファイルを送信できるクラウド版(*)の新機能「ファイル転送」を搭載したdesknet's NEOバージョン9.0を2025年3月にリリースいたしました。「ファイル転送」を利用することで、メールでは送りづらい大容量のファイルも、簡単・安全・確実に送信することが可能となります。

2025年3月に、スマートキャンプ株式会社が実施する“今最も評価されているSaaSを表彰する「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」”において当社主力3製品(desknet's NEO、AppSuite、ChatLuck)が3部門で11個の賞を受賞したほか、2025年4月には、IT製品比較・レビューサイト「ITreview」が主催する「ITreview Grid Award 2025 Spring」においても当社主力3製品がそれぞれ4部門で最高位である「Leader」を受賞いたしました。desknet's NEOは2019年の受賞以来、今回の受賞で24回連続での受賞となりました。

また、2025年3月に経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2025（大規模法人部門（ホワイト500））」に認定されました。「健康経営優良法人」は6年連続、「ホワイト500」は初めての認定となります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,996,382千円（前年同期比18.3%増）、営業利益は644,035千円（前年同期比47.6%増）、経常利益は654,572千円（前年同期比39.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は447,365千円（前年同期比41.7%増）と堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、連結子会社DELGUI Inc.の事業内容については当面の間、当社の開発外注先としての重要性が高まることが見込まれるため、従来「海外事業」セグメントに含めていた業績を当第1四半期連結会計期間より「ソフトウェア事業」セグメントに含める方法に変更しております。

報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記） 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

(*)desknet's NEOパッケージ版のdesknet'sドライブ利用オプションライセンスは2025年6月より提供を開始しております。

(ソフトウェア事業)

ソフトウェア事業は、当社と子会社であるDELGUI Inc.が展開する事業で構成されております。

売上区分別の状況は以下のとおりであります。

売上区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
クラウドサービス	768,298	65.0	1,029,379	68.7	34.0
プロダクト	394,689	33.4	438,808	29.3	11.2
技術開発	19,500	1.6	31,200	2.0	60.0
合計	1,182,487	100.0	1,499,387	100.0	26.8

① クラウドサービス

クラウドサービスの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOクラウド (*1)	643,306	856,486	213,180	33.1
AppSuiteクラウド (*1)	52,611	86,404	33,792	64.2
ChatLuckクラウド (*1)	19,082	22,686	3,603	18.9
その他月額売上	46,685	42,809	△3,875	△8.3
月額売上合計	761,685	1,008,387	246,701	32.4
その他役務作業等	6,612	20,992	14,379	217.5
クラウドサービス合計	768,298	1,029,379	261,081	34.0

(*1) 2024年9月1日より導入いたしましたセットプランにつきましては、価格改定後の既存プラン価格に基づき各サービスに按分した金額を集計しております。

desknet's NEOクラウド版の売上高は、2024年9月以降の価格改定効果等により前年同期比213,180千円増加し、856,486千円（前年同期比33.1%増）と大幅な増加となりました。当第1四半期連結会計期間における増加ユーザー数は、概ね前年同期と同水準で推移しており、同サービスの1社当たりの平均利用ユーザー数は84ユーザーとなっております。また、月平均の解約率(*2)は0.38%となっており、前年同期の月平均解約率0.40%とほぼ同水準となっております。

AppSuiteクラウド版の売上高は、利用ユーザー数の増加及び2024年9月以降の価格改定効果により前年同期と比較して33,792千円増加し、86,404千円（前年同期比64.2%増）と大幅な増加となりました。2024年9月に導入した、desknet's NEOクラウド版とAppSuiteクラウド版をリーズナブルに同時利用できるセットプランの売上が堅調に推移したこともあり、当第1四半期連結会計期間末時点において同サービスの利用ユーザー数は、desknet's NEOクラウドのユーザー数の約17%と前年同期から約5%増加しております。今後もセットプランの訴求を高め利用ユーザー数の拡大に努めてまいります。

ChatLuckクラウド版の売上高につきましては、前年同期と比較して3,603千円増加し、22,686千円（前年同期比18.9%増）となりました。売上高全体に占める割合は小さいものの、成長が見込める分野であることから継続的に機能強化に取り組み、desknet's NEOとの同時利用ユーザー数の拡大に努めてまいります。その他月額売上につきましては、主に主要サービス以外の個別案件の減少により前年同期と比較して3,875千円減少の42,809千円（前年同期比8.3%減）となりました。その他役務作業等の売上高につきましては、データ移行サービス等が増加したことにより14,379千円増加し、20,992千円（前年同期比217.5%増）となりました。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は前年同期比261,081千円増加し、1,029,379千円（前年同期比34.0%増）となりました。

(*2) desknet's NEOクラウドのユーザーにおける「当月の解約により減少したMRR(*3)÷前月末のMRR」の当第1四半期連結累計期間の平均で算出しております。

(*3) MRR(Monthly Recurring Revenue)は対象月の月末時点における継続課金ユーザーにかかる月額料金、もしくは年額料金の1/12の合計額で算出しております。

② プロダクト

プロダクト（オンプレミス型ライセンス及び関連役務等）の主要製品別の売上高は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEO	49,691	54,394	4,702	9.5
AppSuite	27,251	29,723	2,471	9.1
ChatLuck	7,544	3,740	△3,803	△50.4
その他ライセンス売上	4,533	2,481	△2,052	△45.3
ライセンス売上合計	89,021	90,339	1,318	1.5
サポートサービス	220,302	263,914	43,611	19.8
カスタマイズ	16,725	27,302	10,576	63.2
その他役務作業等	68,640	57,252	△11,387	△16.6
プロダクト合計	394,689	438,808	44,119	11.2

desknet's NEOライセンスの売上高につきましては、前年同期と比較して1,000ユーザーから5,000ユーザー規模の新規ライセンスが減少した一方、300ユーザー未満の追加ライセンス及び5,000ユーザー以上の大規模新規ライセンスが増加したことを主な要因として4,702千円増加し54,394千円（前年同期比9.5%増）となり、当初の計画を上回り推移しております。

AppSuiteライセンス及びChatLuckライセンスにつきましては、desknet's NEOライセンスとの同時購入をされることが多い傾向にあります。AppSuiteのライセンス売上高につきましても、desknet's NEOライセンスと同様に前年同期と比較して1,000ユーザーから5,000ユーザー規模の新規ライセンスは減少した一方、5,000ユーザー以上の大規模新規ライセンスが増加したことを主な要因として2,471千円増加し、29,723千円（前年同期比9.1%増）となり、おおむね当初の計画通りに推移しております。また、ChatLuckライセンスの売上高につきましては、前年同期と比較して1,000ユーザーから5,000ユーザー規模の新規ライセンスが減少したことなどにより、ChatLuckの売上高は前年同期比3,803千円減少し、3,740千円（前年同期比50.4%減）となりましたが、おおむね当初の計画通りに推移しております。

カスタマイズの売上高につきましては、前年同期と比較して中規模の案件が増加したことを主な要因として、前年同期比10,576千円増加し、27,302千円（前年同期比63.2%増）となりました。また、サポートサービスの売上高は、前年同期比43,611千円増加し、263,914千円（前年同期比19.8%増）となりました。これは主に、desknet's NEOのサポートサービスの売上高が前年同期比36,210千円増加し、217,033千円（前年同期比20.0%増）となったことによるものであります。その他役務作業等の売上高は、他社製品であるID統合管理システムの販売及び役務作業の減少を主な要因として、11,387千円減少し57,252千円（前年同期比16.6%減）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は前年同期比44,119千円増加し、438,808千円（前年同期比11.2%増）となりました。

③ 技術開発

技術開発につきましては、積極的に受託開発を行う方針ではありませんが、主に従来からの継続案件の売上増加により売上高は前年同期比11,700千円増加し、31,200千円（前年同期比60.0%増）となりました。

以上の結果、ソフトウェア事業の売上高は1,499,387千円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益は652,891千円（前年同期比48.5%増）となりました。

(システム開発サービス事業)

システム開発サービス事業は、子会社である株式会社Pro-SPIREが展開する事業で構成されており、同社が長年培ってきたクラウドインテグレーション、システムインテグレーションのノウハウを基礎に技術者の育成を図り、先端技術を活用し新たな顧客ニーズを満たすシステムエンジニアリングサービスを主に提供しております。

当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期と概ね同水準で推移いたしました。売上原価は人員増に伴い人件費が増加した一方、外注費を削減したことなどにより全体で23,173千円減少いたしました。

また、販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により前年同期比4,518千円増加いたしました。

以上の結果、システム開発サービス事業の売上高は482,356千円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は10,430千円（前年同期比24.2%減）となりました。

(海外事業)

海外事業は、ASEAN地域の海外子会社3社の事業で構成されており、現地企業向けにdesknet's NEOのライセンス販売、クラウドサービスの提供などを行っております。

海外事業においてはdesknet's NEO及びAppSuiteを中心に販売活動を進めております。また、営業人員の育成による営業力強化、展示会への出展による現地における製品・サービスの認知度向上、現地販売代理店の開拓等にも努めており、引き続きストック型の売上を着実に積み上げていくよう営業活動に注力してまいります。

以上の結果、海外事業の売上高は17,686千円（前年同期比11,846千円増加）、セグメント損失は19,362千円（前年同期はセグメント損失17,053千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財務状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より255,603千円減少し、8,984,757千円となりました。これは主に、配当金の支払、法人税等の支払などにより現金及び預金が273,140千円減少したことに加え、米ドル建債券の時価が円高により下落したことにより有価証券及び投資有価証券が89,023千円減少した一方で、前払費用等の増加により流動資産のその他が67,677千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より267,767千円減少し、2,658,707千円となりました。これは主に、法人税等の納付を主な要因として未払法人税等が241,592千円減少した他、賞与引当金が58,409千円減少した一方で、クラウドサービス等の契約負債が72,728千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より12,163千円増加し、6,326,050千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が447,365千円計上された一方で、363,843千円の剰余金の配当を実施したことにより利益剰余金が83,521千円増加したこと、その他有価証券の時価評価の結果その他有価証券評価差額金が67,460千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、米国関税政策の影響の不透明感はあるものの、現時点において大きな影響はないと考えているため2025年3月13日付「2025年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,396,914	5,123,773
売掛金及び契約資産	904,740	921,444
有価証券	154,052	146,827
貯蔵品	2,687	2,722
その他	113,322	180,999
貸倒引当金	△1,594	△1,519
流動資産合計	6,570,121	6,374,248
固定資産		
有形固定資産	89,200	104,538
無形固定資産		
のれん	64,545	61,088
その他	325,364	312,153
無形固定資産合計	389,910	373,241
投資その他の資産		
投資有価証券	1,540,928	1,459,129
その他	650,560	674,194
貸倒引当金	△359	△594
投資その他の資産合計	2,191,129	2,132,730
固定資産合計	2,670,240	2,610,509
資産合計	9,240,361	8,984,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,397	145,145
未払法人税等	458,844	217,252
契約負債	1,301,743	1,374,471
賞与引当金	142,395	83,985
その他	459,398	415,950
流動負債合計	2,514,779	2,236,805
固定負債		
退職給付に係る負債	384,159	394,241
その他	27,535	27,660
固定負債合計	411,695	421,901
負債合計	2,926,474	2,658,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,846	297,846
資本剰余金	287,846	287,846
利益剰余金	5,699,099	5,782,621
自己株式	△87,561	△87,561
株主資本合計	6,197,231	6,280,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,149	28,689
為替換算調整勘定	13,222	9,324
その他の包括利益累計額合計	109,372	38,014
非支配株主持分	7,282	7,282
純資産合計	6,313,886	6,326,050
負債純資産合計	9,240,361	8,984,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	1,687,611	1,996,382
売上原価	751,774	840,475
売上総利益	935,837	1,155,906
販売費及び一般管理費	499,441	511,870
営業利益	436,395	644,035
営業外収益		
受取利息	17,403	16,541
有価証券売却益	3,904	-
投資事業組合運用益	-	9,767
為替差益	8,983	-
その他	6,348	7,564
営業外収益合計	36,640	33,873
営業外費用		
支払利息	6	24
投資事業組合運用損	1,397	-
創立費	2,572	-
為替差損	-	21,081
その他	106	2,231
営業外費用合計	4,083	23,337
経常利益	468,952	654,572
税金等調整前四半期純利益	468,952	654,572
法人税等	153,342	207,207
四半期純利益	315,610	447,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,610	447,365

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益	315,610	447,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,072	△67,460
為替換算調整勘定	1,986	△3,898
その他の包括利益合計	18,058	△71,358
四半期包括利益	333,668	376,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,668	376,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,181,325	500,446	5,840	1,687,611	—	1,687,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,162	3,900	—	5,062	△5,062	—
計	1,182,487	504,346	5,840	1,692,674	△5,062	1,687,611
セグメント利益又は セグメント損失(△)	439,697	13,765	△17,053	436,408	△13	436,395

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△13千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382	—	1,996,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,407	641	—	3,048	△3,048	—
計	1,499,387	482,356	17,686	1,999,430	△3,048	1,996,382
セグメント利益又は セグメント損失(△)	652,891	10,430	△19,362	643,959	76	644,035

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額76千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、業績管理区分を見直したことにより、従来「海外事業」セグメントに含まれていた連結子会社DELCUI Inc.の業績を「ソフトウェア事業」セグメントに含める方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	56,352千円	86,400千円
のれんの償却費	3,457 "	3,457 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア事業	システム開発サービス事業	海外事業	
ストック収益(注1)	982,483	477,656	5,500	1,465,640
フロー収益(注2)	198,841	22,790	339	221,971
顧客との契約から生じる収益	1,181,325	500,446	5,840	1,687,611
外部顧客への売上高	1,181,325	500,446	5,840	1,687,611

(注) 1. ストック収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	クラウドサービス提供による利用料、パッケージソフトのサポートサービス料、ASPライセンス料等の収益	一定の期間
システム開発サービス事業	同一の取引先に対して、各決算期末の直前12か月以上継続して売上を計上している準委任契約、派遣契約(契約更新により12ヶ月以上のものを含む)による収益	一定の期間

2. フロー収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	パッケージ製品のライセンス料の収益	一時点
	製品カスタマイズなど請負契約、製品インストール作業・データ移行作業・教育等の役務作業による収益	一定の期間
システム開発サービス事業	ストック収益に該当しない準委任契約、派遣契約及び請負契約による収益	一定の期間

当第1四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア事業	システム開発サービス事業	海外事業	
ストック収益（注1）	1,271,720	448,831	9,360	1,729,912
フロー収益（注2）	225,260	32,883	8,325	266,469
顧客との契約から生じる収益	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382
外部顧客への売上高	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382

(注) 1. ストック収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	クラウドサービス提供による利用料、パッケージソフトのサポートサービス料、ASPライセンス料等の収益	一定の期間
システム開発サービス事業	同一の取引先に対して、各決算期末の直前12か月以上継続して売上を計上している準委任契約、派遣契約（契約更新により12ヶ月以上のものを含む）による収益	一定の期間

2. フロー収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	パッケージ製品のライセンス料の収益	一時点
	製品カスタマイズなど請負契約、製品インストール作業・データ移行作業・教育等の役務作業による収益	一定の期間
システム開発サービス事業	ストック収益に該当しない準委任契約、派遣契約及び請負契約による収益	一定の期間

3. 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、前第1四半期連結累計期間について変更後の区分方法により作成したものを記載しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記） 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。